



E1A 伊勢湾岸道路のストック効果 —中部圏ダブルネットワーク—

東西軸におけるダブルネットワークにより、物流経路が大きく変化

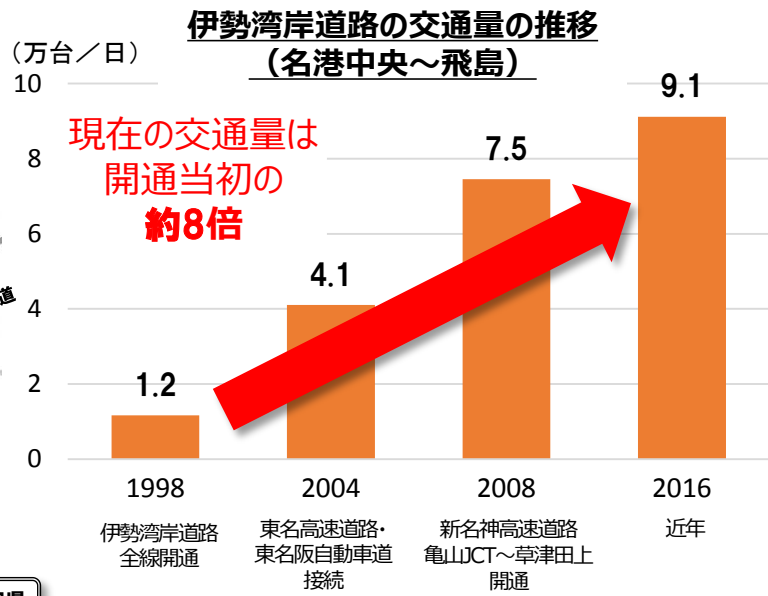


開通当初の様子

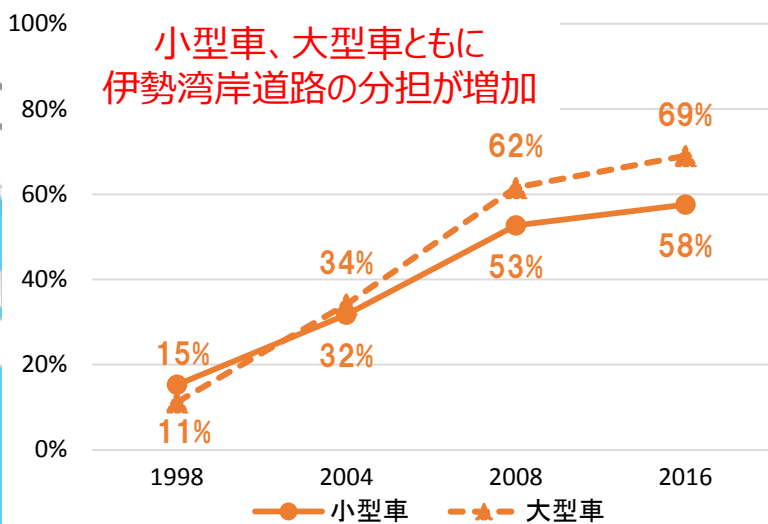


最近の様子

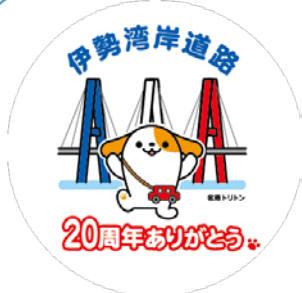
伊勢湾岸自動車道（豊田東JCT～四日市JCT）の開通により、東名・名神ルートから伊勢湾岸・新名神ルートへの転換が図られるなど、東京～名古屋～大阪を結ぶ我が国の物流の大動脈を担っています。通行止め時などに代替機能が確保され、移動の定時性が向上しました。



中部圏の東西軸における伊勢湾岸道路交通量分担率



※名神高速道路（小牧～一宮）、伊勢湾岸道路（名港中央～飛島）による分担率



E1A 伊勢湾岸道路のストック効果 —産業振興を支援—

我が国の基幹産業である自動車産業を支援

我が国の基幹産業である自動車産業は、愛知県・三重県が製造品出荷額の約5割を占めています。

伊勢湾岸自動車道沿線には、多くの自動車関連企業が立地しており、自動車産業において、非常に重要な役割を果たしています。



伊勢湾岸自動車道周辺の自動車産業関連企業の分布



※製造品出荷額等：工業統計の細分類「自動車タイヤ・チューブ製造業」「自動車製造業（二輪自動車を含む）」「自動車車体・附随車製造業」「自動車部品・附属品製造業」による集計
※工業用地：工業団地開発による敷地面積10ha以上の用地（工業団地）と単独立地による敷地面積10ha以上の用地（単独立場用地）の範囲の広がり



私たちは、自動車部品の製造のため金型等の製造や部品の加工等をおこなっている会社で、お客様は愛知県をはじめ、静岡県、神奈川県等にいらっしゃいます。お客様とはフェイストウフェイスでのやり取りをするため、頻りに移動をしますが、伊勢湾岸自動車道により、お客様のところへすぐに訪問することができるようになり、事業の効率化が図れました。

出典：H29.10 NEXCO中日本ヒアリング調査

